

組合だより



令和2年2月15日発行

No.390

静岡共済協同組合

代表理事 鈴木 英 代

本部 浜松市中区新津町610

TEL 053-465-5391

支部 島田市大井町2279-2

TEL 0547-36-1198

アイデアが次から次へと出てくる人が本当に羨ましいと思います。ごく平凡な能力しかない自分には、アイデアを生み出すことは至難の業だと思っていたのですが、ある本に「アイデア力」をつける脳を作ることが出来ると、書いてありました。

今まで、アイデア力のありなしは、生まれつきの脳の構造で決まっているのではないかと、直感や創造性を司るといわれる右脳の働きがもともと弱い人は、アイデア力を伸ばすにも限界があるのではないかと、また、斬新なアイデアを生み出すような、いわゆる“柔らかい頭”は若い頃に良く機能して、年をとればとるほど衰えるといわれるから、そもそも年をとってからアイデア力を伸ばすことなど不可能なのではないかと考えていました。世の中の多くの方はそう考えていると思います。

でも、アイデア力は何歳になっても、いうなれば“死ぬ直前”まで伸ばすことが出来るというのです。どうやれば……

実は「新しいアイデア」などこの世には存在しない、ほぼ「ゼロ」といってしまっているのだそうです。「えっ？」と思いますよね。打ち合せや会議の時に面白いアイデアをいくつも出す「アイデアマン」がいます。その場で閃いたと思われるそのアイデアも、実はすでに世界中で

何百人もの人が思いついているものだそうです。

では、人より少し先をいくアイデアマンになるためにはどうすればいいのでしょうか。それは「歴史を精査する」ことだそうです。

人間が本当にほしいものや、生きる上で本当に必要なものは、時代を経てもそれほど大きく変わるものでなく、今必要なアイデアも、必ず過去の誰かが思いついて、今起こっているのと同じような問題を必ず過去の誰かが何らかの形で解決しているはずなのだそうです。肝心なのは、そういった過去のアイデアなりその解決法を、目の前の問題と結びつけてアレンジすること、そういった柔軟性こそが、アイデアのある人、ない人の分かれ道だといえます。アイデアは“思いつくもの”ではなく、「過去から拾ってきて応用するもの」と言えるとの事です。

また、柔軟な発想を生み出す知能とは別に、過去の歴史やデータを蓄積し、それを目の前の問題に応用するという「言語性知能」と呼ばれる知能があり、その知能は年齢を重ねてもどんどん伸ばしていくことが出来るのだそうです。

“記憶のデータベース”の蓄積と、その引き出しを開き活用することで、アイデアを生み出す高い能力を発揮できるのだそうです。私も様々な過去のデータを活用し、アイデアを生み出すことが出来るよう努力をしたいと思いました。

お知らせ



- ✓ **労働保険・年度更新**の時期(4月)が近づいてきました。
平成31年4月から令和2年3月までの**賃金、元請工事等のご報告**をお早めにお願ひします。
なお、**事業所関係の変更**(所在地・社名・代表者・業種・特別加入者・被一括事業所等)がありましたら担当までご連絡ください。
- ✓ **特別加入**の契約について内容確認のご案内をしますので**3月6日(金)**までにご回答ください。
- ✓ **令和2年度 定期健診**、浜松本部の夏健診は、**7月4日(土)午前**に実施します。
また、島田支部においても**7月1日(水)午後**に行います。例年受診されていない事業所様も受診できます。お申し込みを受付中です。お気軽にお問い合わせください。
- ✓ 4月1日以降に締結する時間外労働・休日労働に関する協定届(36協定)に関しては時間外労働に上限が適用されます。様式も変更になります。臨時的な特別な事情により限度時間を超えて労働させることができる特別条項を設ける場合はもう一枚用紙が必要になります。厚生労働省の働き方改革特設サイトにて時間外労働の上限規制について文章や動画で詳しく解説しています。

働き方改革 時間外労働の上限規制 で検索してください。

- ✓ マイナンバー制度の導入により氏名、住所を変更した場合は年金事務所へは書類を提出する必要はありませんが静岡共済には連絡してください。
- ✓ 健診料金のご請求につきましては1月受診分より税込にて表示させていただきます。